

令和6年度熊本県中学校総合体育大会軟式野球競技
地域クラブ活動チーム代表選考トーナメント要項

- 1 目的 熊本県中学校総合体育大会軟式野球競技に出場する地域クラブ活動チームを1チーム選考する。
- 2 主催 熊本県軟式野球連盟
- 3 会期 令和6年6月15日(土)、16日(日)
予備日 22日(土)、23日(日)
- 4 会場 城南グラウンド、塚原グラウンド、田原グラウンド
- 5 参加資格 熊本県中学校体育連盟より軟式野球競技に出場することを認定された地域クラブ活動チーム
- 6 チーム編成 代表者1名、監督1名、コーチ2名、選手9名以上20名以内
ベンチ入りは選手、監督、コーチ、スコアラー、代表者とする。
- 7 競技規則 2024年公認野球規則、2024年競技者必携並びに別に定める特別規則を適用する。
- 8 競技方法 (1)トーナメント方式とし、各試合7回戦とする。ただし、試合時間が1時間45分を経過した場合には新しいイニングには入らない。
(2)7回又は制限時間が来ても同点の場合は、タイブレーク戦を投手の投球制限を遵守のうえ、勝敗が決するまで行う。
【タイブレーク戦】
継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、無死一・二塁の状態にして行う。
(3)コールドゲームは5回以降7点差以上のときに適用する。
決定戦も同様とする。
また、雨天コールド(5回成立)は適用せず、降雨荒天による中止はすべて継続試合とする。雨天時の中断判断は原則30分とし、30分経過した時点で連盟と確認し判断する。
(4)守備側及び攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。タイブレーク戦は1イニングに1回とする。野手がマウンド付近に集まった場合もタイムと見做す。
守備側のタイム中に攻撃側は指示を与えることができるが、守備側のタイムより長引けば攻撃側も1回カウントされる。
攻撃側のタイム中に守備側は指示を与えることができるが、攻撃側のタイムより長引けば守備側も1回カウントされる。
(5)投手の投球制限については、2024年全日本軟式野球連盟の規定通りとし、1日100球で到達打者完了までとする。
なお、特別継続試合で投球できる球数は、音の試合で投じた球数を引き継ぎ、残りの球数だけとする。また、特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試合において1日の投球制限を超えない範囲で登板できる。
(6)12秒及び20秒ルールについては適用する。

(7)指名打者制については適用しない。

(8)守備の時間が長い場合（概ね20分）及び酷暑の場合で30分～40分毎に、約3分間の給水タイムを設けることとする。（試合時間に入れない）

給水タイム時は、バッテリーの投球練習を除いて、選手はベンチ内に入ること。

天候次第では実施しない場合もあるので、試合前に確認すること。

9 使用球 (公財) 全日本軟式野球連盟公認球 ケンコーM号ボール

10 審判 熊本県軟式野球連盟公認審判員

11 申込方法 下記により申し込みを行う。

チームは参加申込書に所定事項を記入し、所属支部へメールにより提出する。

支部は申込内容を確認のうえ5月28日（火）までに熊本県軟式野球連盟少年部にメールにて送付する。

※少年部メールアドレス kumamoto-shounen@bun.bbiq.jp

参加申し込み後の変更追加は監督会議前日まで認める。

12 参加料 15,000円（監督会議時に納入）

13 監督会議 下記のとおり行う。監督1名のみの参加とする。

(1)日 時 令和6年6月2日（日） 13時00分

(2)場 所 水前寺野球場会議室

14 開会式 行わない

15 県大会出場資格の付与

代表（優勝）チームに熊本県中学校総合体育大会軟式野球競技への出場権を付与する。